

事務局からのお知らせ

(1) 行事予定

下記の行事を計画しておりますので、奮ってご参加下さい。

・ 第 92 回定例研究会 :

平成 11 年 1 月 29 日 (金)

13:30~16:00 学士会館 (本館 320 室)

「水からの水素製造のための光触媒の開発」

講師: 車京理科大学助教授工藤昭彦氏

「酸化半導体光触媒を用いた太陽光と水からの直接水素製造プロセス」

講師: 物質工学工業技術研究所部長

荒川裕則氏

・ 第 93 回定例研究会 : 平成 11 年 4 月

・ 平成 11 年度通常総会 : 平成 11 年 4 月

・ 第 5 回日韓合同シンポジウム

1999 年 11 月 19 日 (金)

韓国 Kyung-Ju City (慶州)

(2) 行事報告

i) WHEC12 報告会報告 : 10 月 29 日 (木曜日) 10:00 から、学士会館において Buenos Aires で開かれた第 12 回 World Hydrogen Energy Conference の報告会が開催された。報告は、水素の製造、水素の貯蔵技術、水素エンジンの開発状況、水素自動車と水素ステーションの開発状況、構造材料関連、水素吸蔵材料、に集約しておこなわれた。

ii) 第 19 回水素エネルギーシステム研究発表会及び第 91 回定例研究会 : 平成 10 年 11 月 18 日 (水) 9:30 から 17:00 まで、笹川記念会館で 9 件の研究発表と 2 件の講演を行った。「ダイヤモンド・ベンツ社の水素自動車開発戦略」と「低公害高効率エンジンの将来」と題された講演には活発な質疑応答が交わされた。

iii) 団体特別見学会 : 未定 11 月 26 日 (木) 14:00 から工業技術院大阪工業研究所の固体高分子電解質型水電解テストプラント、水素燃焼タービン用黒鉛系材料、固体高分子電解質型燃料電池とアクチュエ

ーター、水素吸蔵合金と水素化物電池、を見学した。

(3) 国際会議のお知らせ

i) The 4th International Conference on New Energy Systems and Conversions, NESC'99

Date: 27-30, June 1999

Place: 大阪大学コンベンションセンター

Deadlines: 別紙参照 (締め切りは過ぎているが、まだ受付可能とのこと。発表にご協力下さい。)

Contact: 大阪大学工学部電気工学教室松浦慶士教授
〒565-0871 吹田市山田丘 2-1

Tel: 06-879-7689, Fax: 06-8791-7724

E-mail: matsuuram@pwr.eng.osaka-u.ac.jp

ii) HYFORUM 2000

Date: 19-21, September 2000

Place: International Congress Center Munich, Munich Germany

Contact: The Future Energies Forum ("Forum für Zukunftsenergien"),

Godesberger Allee 90 D-53175 Bonn Germany

Fax: +49-228-95956-50

E-mail: energie_forum@t-online.de

iii) The 13th World Hydrogen Energy Conference

Date: 12-15, June 2000

Place: Beijing, China

Contact: Prof. Bao Deyou

Fax: +86-10-62180142

E-mail: zhenyj@public.bta.net.cn

(<http://www.ciccst.org.cn/hydrogen>)

なお、第 14 回 (2002 年) は Montreal (CANADA) で開催されることが決まった。

(4) ドイツ水素エネルギー協会 (DWV) へのインターネットアクセス

DWV 事務局の U. Schmidtchen 氏から、水素および燃料電池関係のニュースを英語で提供し始めたとの連絡がありました。ヨーロッパ、アメリカのニュースが見られますので、以下のアドレスでアクセ

スをお試し下さい。

水素および燃料電池関係のニュースのアドレス

<http://www.HyWeb.de/gazette-e>

ドイツ水素エネルギー協会へのアドレス

Ulrich Schmidtchen

German Hydrogen Association (DWW)

Unter den Eichen 87, 12205 Berlin, Germany

Telefon: (+49-30) 8104-4402, Fax: -3433

Internet:

<http://www.bam.de/partner/dwv/hydrogen.html>

E-Mail: dwv@bam.de

(5) 会員増強に対するお願い

国内外では以前にもまして水素エネルギーに対して熱い目が向けられてきております。そこで、この機会をとらえますますの会員の増強をはかり、更に活動の充実を図りたいと考えております。会員の関係者で、水素エネルギーに興味のある方または応援して頂けそうな方々にお声を掛け入会のお誘いをして頂けたら有り難いと思っております。本会の活動及び入会の案内は、本紙の後半に記載されておりますので、宜しくお願い致します。

(6) 『資料』の掲載について

メーカーが自社の製品(ただし、水素エネルギーに関するもの)を有料(1万円/頁:最大3頁)で紹介出来るページを設けました。是非とも皆様および関係者の参加をお願い致します。

(7) 広告掲載のお願い

会誌及びシステム研究会前刷集に掲載する広告を募集しております。1頁当たり3.5万円です。ご希望の方は、編集委員会事務局までご連絡下さい。

(8) 入退会 (平成10年5月1日～11月30日)

1) 新入会員

団体会員: なし

個人会員:

桜井英博(早稲田大学)

三木啓史(株式会社四国総合研究所)

小淵 彰(三菱化工機株式会社)

星野博司(東海大学)

2) 退会会員

団体会員: (株)ユニシアジェックス

個人会員: 三石信雄、牛山泉、犬飼恒彦

3) 現在会員数

団体会員: 33社

個人会員: 97名

WE-NETプロジェクト IAHE 賞を受賞

1998年6月、ブエノス・アイレスで開催された第12回世界水素エネルギー会議 (WHEC'12)において、WE-NETプロジェクトが、第1回 IAHE Rudolph E. Erren 賞を受賞しました。表彰の理由は別掲の賞牌に記された通りです。

IAHE (International Association for Hydrogen Energy) は1997年夏に、水素エネルギー技術分野での顕著な研究業績に対する表彰制度を創設し、WHEC'12において第1回目の表彰を行うことを決めました。創設された5分野のIAHE賞ならびに第1回受賞者は以下の通りでした。

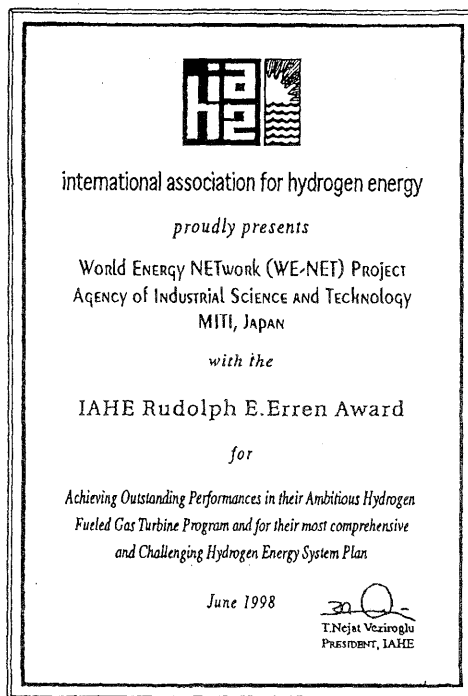
・ IAHE Jules Werne 賞 あらためて説明するまでもなく有名な、フランスの作家 Jules Werne の名をとった賞で、Jules Werne は1870年代に「不思議な島(Mysterious Island)」という小説で、エネルギーキャリアーとして水素を使う未来社会を予言しました。IAHE Jules Werne 賞は、水素エネルギーシステム技術に対する包括的貢献に対して与えるものとされています。今回は、「太陽/水素エネルギーシステムの研究において先駆的かつ指導的役割を果たした」業績をたたえ、元テキサス AM 大学教授 O'M. Bockris 博士と国際システム解析研究所 (International Institute for System Analysis) の C. Marchetti 博士に授与されました。

・ IAHE Sir William Grove 賞 燃料電池の発明者であるイギリス科学者の名をとった賞で、電気化学分野での業績に対して与えられるものです。今回は、燃料電池技術の発展に顕著な貢献をした業績により、Ballard Power System 社の創立者である Geoffrey Ballard 博士に授与されました。

・ IAHE Rudolph E. Erren 賞 水素燃料熱機関、水素燃焼、熱化学水素製造、水素輸送、貯蔵分野での業績に対し与えられる賞です。今回は特定個人ではなく、WE-NET プロジェクトという事業に対して授与されました。賞の名前の Rudolph E. Erren は、1930年代に Hydrogen-powered motor 自動車の開発を行った人として知られています。

・ IAHE Konstantin Tsiolkovsky 賞 宇宙航空分野のパイオニアであり、1890年代に世界で初めて、水素燃料ロケットの提案をしたロシアの科学者にちなんだ賞で、宇宙航空分野での業績に対して与えられます。今回は NASA が受賞しました。

・ IAHE Akira Mitsui 賞 生物学的水素製造の科学・技術分野で指導的役割を果たした、故 Mitsui Akira 博士にちなんでつけられた名称です。その名の通り、生物学的水素製造分野での業績に対して与えられる賞ですが、今回は該当者無し、ということでした。



WHEC12でWE-NETが受賞した
Rudolph E. Erren Award